

全国モデル道の駅「遠野風の丘」でミニ防災セミナーを開催！

道路環境課

ミニ防災セミナー「学ぼう！災害への備え」が7月25日(土)、今年1月に国土交通省から全国モデル道の駅に選定された遠野市の道の駅「遠野風の丘」で開催されました。東日本大震災津波の被災地支援などをテーマに講演が行われ、緊急時に道の駅が果たす役割について改めて考えさせられました。



全国「道の駅」連絡会 会長 本田敏秋 遠野市長

当日は、市長、県職員、医療従事者、海洋研究者、緑化推進機構の方など、様々な分野の方からの講演がありました。

本田敏秋遠野市長は、東日本大震災津波の際に道の駅が被災地の後方支援の拠点として機能したことを振り返り、「思いは見えないけれど、思いやりは見える。心は見えないけれど、心づかいは見える。」と、道の駅が思いやりと心づかいに溢れる場所であることを訴えました。

道の駅は、休憩・情報発信・地域連携という本来の機能以外に、地域防災の拠点として新たな役割を果たすことが、ますます期待されています。

ミニ防災セミナーは、2004年の新潟中越地震の際に道の駅が防災機能を発揮したことをきっかけに開催されているものです。道の駅新聞「ルートプレス」の発行元 NPO「人と道研究会」が、全国各地の地域防災拠点である道の駅と共同で開催し、防災の基礎知識等を学ぶセミナーを実施しています。

学ぼう！ 災害への備え

ミニ防災セミナー

平成27年
日時 7月25日(土) 11:00-12:40

場所 道の駅「遠野風の丘」 入場無料
住所 遠野市綾織町新里8地割2番地1

- 1 開会
- 2 挨拶 11:01～
遠野市長
全国「道の駅」連絡会 会長 本田 敏秋 氏
- 3 来賓祝辞 11:05～
岩手県南広域振興局長 堀江 淳 氏
- 4 講演
講演① 11:15～ 「あの時、遠野で私は」
岩手県沿岸広域振興局 農林振興センター 林務室長 深澤 光 氏
講演② 11:35～ 「大規模災害時の医療において、大事なことは？」
岩手医科大学 医学部 災害医学講座 助教授 藤原 弘之 氏
講演③ 11:50～ 「島国、日本の災害と暮らし/海と共に生きる」
一般財団法人沿岸技術研究センター 審議役 八尋 明彦 氏
講演④ 12:05～ 「道の駅「遠野風の丘」の果たした役割」
遠野市長
公益社団法人 岩手県緑化推進委員会 理事長 本田 敏秋 氏
講演⑤ 12:25～ 「国土緑化運動と「道の駅」」
公益社団法人 国土緑化推進機構 常務理事 青木 正篤 氏
- 5 協賛の挨拶 12:35～
- 6 閉会 12:37～
●主催 道の駅「遠野風の丘」、NPO人と道研究会
●後援 国土交通省東北地方整備局、岩手県、遠野市、
全国「道の駅」連絡会、東北「道の駅」連絡会
●共催 公益社団法人 国土緑化推進機構

[問合せ先] 道の駅「遠野風の丘」 TEL: 0198-62-0222